



ニッセンケンの試験メニューを
世の中のいろいろな話題と自由きままにミックス！



COLUMN 試験担当者のひとり言

お役立ちな独白 3 猫の汚れの実態は？ もずくちゃんの生菌数をリアル検証しました

2025.3.19

シャンプー前後の違いを検証

皆さん、猫の“汚れ”について気になったことは、ありませんか？ 体、つまり毛皮表面の汚れです。

昨年、わたしは初めて猫ちゃんをお迎えしました！
ごはんとおもちゃが大好きで、よく膝の上に乗ってくる
甘えん坊の男の子です。そんなわが家の猫ちゃんですが、まだ一度もシャンプーをしたことがありません。

猫はセルフグルーミングをしているので、健康であれば基本的にシャンプーは必要ないと聞いたことがあります。しかし、本当にグルーミングだけで身体を清潔に保っているのでしょうか。



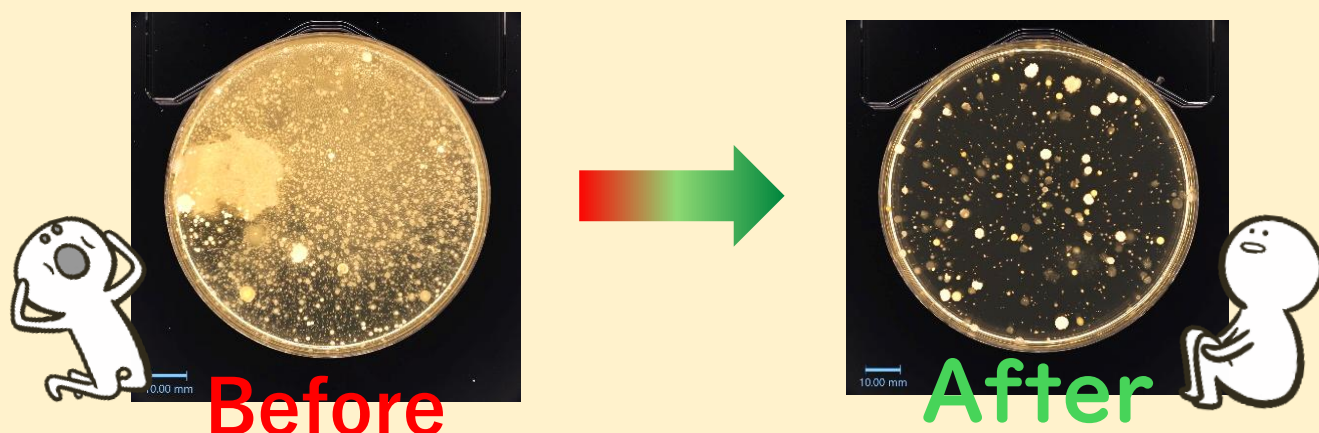
そこで今回、

猫はどのくらい汚れているのか、シャンプー前後で比較！ してみました。

おまいらひまか



と、言うなかれ、驚きの結果は次のページで！



※抗菌性試験とほぼ同様の方法で、培地を使い温度・時間等同条件下で菌の繁殖度合いをみました

シャンプーする・しないで結果の違いは歴然

今回はシャンプー前後に一週間ブラッシングを行い、たまった猫の毛で生菌数を測定してみました。

シャンプー前では、数えきれないほどたくさんの菌がいることがわかりました。ちょっと、、、見たくなかったな…と思うくらいです。

シャンプー後の生菌数を見てみると数えられる程度には少なくなっていることがわかります。わたしはシャンプーを初めて行いましたので、飼い主が作業に慣れていて、定期的にシャンプーをされている猫ではもう少し菌が少なくなっているのではないかと予想されます。

スマートフォンがトイレの便座よりも汚い!? も検証

ちなみに、微生物の汚染の話をしていた時に、『スマートフォンがトイレの便座よりも汚い』(*1)ということを目にしたことがあります。今回、その真偽を確かめるため、思い付きで自分のスマホでも同様の試験を行いました。意外にも生菌数は少なかったです(右図)。

わたしのスマホの画面には、抗菌フィルムを貼っているので、少ない結果になったと思われます。



(*1) 2017 年、ある大学が高校生のスマホを対象に行った研究によると、スマホに約 1 万 7000 個もの細菌が付着していました。この細菌の量は便座の約 10 倍にあたるそうです。



猫にとっての衛生リスク そして飼い主が対処できること

今回、シャンプーをする前の猫ちゃんからは、非常に多くの菌が検出されました。ただし、このくらいの菌がいることは当たり前で、そのほとんどが常在菌かもしれません。

しかし、皮膚のバリア機能の低下や免疫力の弱い猫にとっては、常在菌によって感染症を発症することもあります。人獣共通感染症の糸状菌症を引き起こす[好熱性菌](#)などの存在も心配ではあります。

今回の結果から、定期的にシャンプーをしてあげることはもちろん、抗菌効果のある衛生用品や、有害物質が含まれていないことが確認されているエコテックス® 認証を受けている安全性の高い製品を選んで、猫ちゃんのための衛生環境を整えてあげたいな、と感じました。

ひとり言 執筆担当：ライフ アンド ヘルス事業本部 バイオケミカルグループ 同 [ご質問はこちらからどうぞ！](#)